

第3種郵便物認可

不撓不屈

ふとうぶくつ

情熱が先走る

「今考えると赤面するほど、危なっかしい創業の仕方だった」。アグリクラスター（さいたま市中央区）社長の福宮健司は、2008年の起業当時を振り返る。現在の主力製品の一つである地中熱システム「ヒートクラスト」は、地中の土や水が保つ熱を再生可能エネルギーとして活用し、農家などの空調管理を省

アグリクラスター ②

無謀な事業計画

エネ化する技術だ。しか
し、創業した時に製品は
影も形もなく、情熱だけ
が先走っていた。

福宮は「既製品を買っ
てきて売る商売ではな
く、自分で新技術・新製
品を完成して売る会社を
つくること」に強い信念
があった。自己資金に銀
行融資などを加えて創業

資金不足を自覚

「これから技術を確立
して会社を大きくしたい
ので、助言してほしい
品を完成して売る会社を
ンチャー支援センターに
駆け込み、担当者懇願

資金とし、それらの資金
を食いつぶしながら製品
を完成しようと考えてい
た。事業計画もシンプル
に設立1年目が1000
万円、2年目が3000
万円、最終年度に5億

融機関などを説得できる
事業計画書と資金繰り計
画表を作成しましよ
う。担当者は冷静に福
宮の先走りを指摘した。
「資金繰り計画表など



さいたま市にある農園に導入した「施設園芸用古井戸熱源活用システム」

なくても気合で十
分やっつけていける。このまま突っ走れ
という気持ちが福宮にはあった。し
かし、担当者とのまた夢であることを悟
ち、次第にこの
事業計画では常に
資金が足りない状
態になることが分

経営見つめ直す

「これからどう売り上げ
0万円を売り上げて利益
を出たとしても、翌年に
を願うのか、金融

埼玉県支援施設から第一歩

タルとも話ができる考
え方を持たないと、事業計
画は誰にも聞いてもらえ
ない」。経営を冷静かつ
現実的に見つめ直す大事
な契機にもなった。
幸いにもベンチャー支
援センターの施設内には、ベンチャー企業が小
さな部屋を安価に借りら
れる制度があり、早々に
入居した。創業支援と低
コストのオフィス提供に
加え、行政書士や税理士
などの専門家も施設内に
入居しており、経営上の
課題にスムーズに対応し
てもらえる環境が整った。
周囲の助けを借りながら、
福宮は製品化に取り組み
始めた。（敬称略）